

1. ハツリ処理

施工仕様に基づき床版上面の劣化部を除去します。



① ハツリ処理

2. 清掃

ハツリ面に残ったガラ、塵等を除去します。

浮石や脆弱部があれば除去します。また、浮き水がある場合も除去します。



② 清掃

3. PDプライマー塗布 (ウォータージェットによる研りには不要)

① PDプライマーは、主剤と硬化剤に分かれており、使用時に混ぜ合わせます。

② 主剤と硬化剤の配合比は、2:1です。

少量使用するときは必ずハカリで計量してください。

③ 主剤と硬化剤は、電動攪拌機を用いて1分以上十分に攪拌してください。

④ 混合すると徐々に硬化を始めます。可使用時間(表参照)を確認のうえ、時間内に使用してください。

⑤ PDプライマーを施工面に塗布します。

標準使用量は(0.5kg/m²)です。塗り残しがないように注意してください。



③ PDプライマー塗布

タイプ	過年度			
温度 [C]	5	10	20	30
可使用時間 [分]	210	140	60	40

※NEXCOの鉄筋防錆材としての標準を満足しています。

4. PDボンド塗布

① PDボンドは、主剤と硬化剤に分かれており、使用時に混ぜ合わせます。

② 主剤と硬化剤の配合比は、3:1です。

少量使用するときは必ずハカリで計量してください。

③ 主剤と硬化剤は、電動攪拌機を用いて2分以上十分に攪拌してください。

④ 混合すると徐々に硬化を始めます。可使用時間と打継有効時間(表参照)を確認のうえ、時間内に使用してください。

⑤ PDボンドを施工面に塗布します。

標準使用量は(プライマーとの併用で0.8kg/m²、その他は1.2kg/m²)です。塗り残しがないように注意してください。打設有効時間内に次工程に移ります。



④ PDボンド塗布

タイプ	冬用 (W)			春秋用 (F)				夏用 (S)			
温度 [C]	5	10	15	10	15	20	25	20	25	30	35
可使用時間 [分]	20	15	10	35	20	15	10	35	20	15	10
打設有効時間 [分]	90	60	40	90	75	60	40	90	75	60	40

※ 使用時間: 攪拌開始後から塗布作業が出来なくなるまでの時間。

※ 打設有効時間: 攪拌開始後からコンクリートの打設を終了しなくてはならない時間。

※NEXCOの鉄筋防錆材としての標準を満足しています。



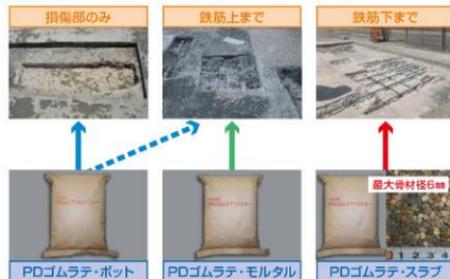
⑤ PDモルタル打設

5. PDゴムラテ・(モルタル、ポット、スラブ) 打設

① PDゴムラテ・(モルタル、ポット、スラブ)は、パウダー・混和液・専用骨材に分かれており、使用時に混ぜ合わせます。ハツリ深さに合わせて使い分けま

す。

② 選定目安



③ 練り混ぜは混和液を先に投入します。遅延剤の添加が必要な場合は、この混和液に添加してください。

PDゴムラテ・ポット 養生温度別配合

外気温	PDゴムラテ・ポットパウダー	PDポット混和液	遅延剤	可使用時間の目安
5~20C	25kg (1袋)	3.0kg (1パック)	~70g	15~60分
20~30C			40~115g	15~60分
30C~35C			60~120g	10~40分

PDゴムラテ・(モルタル・スラブ) 養生温度別配合

外気温	PDゴムラテパウダー	PD混和液	遅延剤	可使用時間の目安
5C~20C	25kg (1袋)	3.0kg	~70g	15~60分
20~30C			40~115g	15~60分
30~35C			60~120g	10~40分

④ ミキサを少しずつ回転させながらパウダーを投入します。

⑤ 練混ぜ時間の目安は、ハンドミキサーで90秒~120秒、傾斜ミキサや左官ミキサで180~240秒程度です。

⑥ PDゴムラテ・スラブでは、専用骨材を投入し、再度60~90秒程度練混ぜてください。

⑦ 補修後は急激な乾燥を受けないよう、シート等を用いて養生を行ってください。



⑧ 完成

6. 完成